

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者	紹介議員氏名	付 託 委員会名	議決結果
27年 第2号	27.3.2	<p>TPP交渉に関する請願</p> <p><b>【請願趣旨】</b></p> <p>昨年末に合意をめざしたTPP交渉は、日米間はもとより、交渉参加国間の深刻な利害対立から、合意を断念せざるを得なかった。TPPは農林漁業への甚大な影響のみならず、食の安全、医療制度、保険など、国民生活に広く影響を及ぼし、ISD条項によって国家主権がおびやかされるなど、TPPに対する国民の懸念が広がっているもとの、合意を断念したことは当然のことだった。</p> <p>しかし、春の段階でのTPP合意をめざすオバマ政権は、年明けから日米事務レベル協議を再開し、安倍内閣も日米が連携して交渉を促進する立場を繰り返し表明するなど、依然として緊迫した状況にある。</p> <p>政府はこの間、交渉にあたっては重要五品目については除外または再協議の対象とすること等を明記した衆参両院の農林水産委員会決議を順守することを約束し、与党も一連の選挙公約で繰り返し同様のことを国民に約束してきた。</p> <p>しかし現実には、日本政府が国益を明け渡す譲歩を繰り返しているのに対し、アメリカはひとつ譲ればふたつよこせ、ふたつ譲れば全部よこせとばかりに、全面譲歩を要求している。もはや国益を守るためには交渉から撤退する以外にないことは明らかであろう。</p> <p>以上の趣旨から、下記事項についての意見書を政府関係機関に提出することを請願する。</p> <p><b>【請願項目】</b></p> <p>1 TPP交渉に関する国会決議を順守し、守れない場合は、交渉から撤退すること。</p>	<p>農民運動茨城県連合会 (茨城農民連) 会長 岡野 忠</p>	<p>山 中 たい子 江 尻 加 那 上 野 高 志</p>	<p>総務企画</p>	<p>不採択</p>